令和４年度　第３回伊達市ケーブルテレビ運営審議会　議事録

令和４年 10 月５日(水)
午後１時半～午後３時半
於 ふれあいセンター
１階　多目的ホール

１　開　会　課長より開会宣言

２　会長あいさつ

課長報告　委員８名の中、７名の出席で、会議の成立。

議事前に
伊達市で放送している「こんにちはだて」、YouTube「い～ないだて」の番組
視聴方法の実演。
テレビに、スマホから HDMI の接続で、スマホの画面をテレビで視聴可能を説明。
３　議事
会長
本日の課題の一つ目、「若者に関するアンケート調査」について

室長
「若者に関するアンケート調査」の結果報告
令和３年の成人式が、コロナの影響でリモート開催。今年の夏(8/14)に、有志が対面による成人者交流会を開催。
この場所を利用し、アンケートを実施。当日参加者 89 名中 69 名からの回答。回答78%の回答率。
情報をどのように取得しているか？
「ニュース、ドラマ、スポーツ、バラエティ、天気、旅番組、災害」の項目をどのような媒体で取りますかという事をお尋ねしました。
答えていただいた媒体「テレビ、ラジオ、インターネット、新聞、書籍、その他」。
「ニュース、天気、災害」の項目は、インターネットの方が多い。
これは、速やかに情報を得たいためと考えられる。インターネットから情報を得ているのではないかと推察される。
「ドラマ、スポーツ、バラエティ、旅番組」の項目は、テレビが多く、次いでインターネットが続いている。

問２は、伊達市の行政情報をSNSで発信していますが、どのSNSを利用しているかを確認したくて、聞いてみました。
選択項目：Facebook、Twitter、line、Instagram、未登録。
それぞれに登録されている方がいらっしゃったという事が分かりました。
6割は未登録。３割の登録者いました。
その中で多く登録しているＳＮＳは、Twitterで15%
問3は、男性、女性の割合を聞いた。男性6割、女性4割。
問４は、住んでいる地域はどこですかを聞いた
開催場所が、ふるさと会館ということもあってか、旧梁川町と旧伊達町をあわせると5割を占めた。その次は、伊達市外の方、2割強を占めていた。
統一の質問は、ここで終わり。
これ以降は、旧伊達町に住んでいる方について質問を行った。
問５は、ケーブルテレビへの加入の有無について聞きました。
加入している方は5割弱。加入していない15%。
加入している方と回答してくれた人に、引き続き質問6として、自主番組はどのくらいみているのかを聞いた。
番組としては、「こんにちはだて11ちゃん」「議会中継」「お天気チャンネル」
回答が、見ていないという方がすべてだったので、ここで終了しました。

委員
このアンケートの設問はどなたが考えたのか?

室長
事務局で考えました。

委員
あまりアンケートの内容は適切ではないのでは。
アンケートの目的は何だったのか?そこを、きちんと考えて設問を作ったのか?
そもそも、アンケートの目的、若者に聞きたかった事は何ですか?

室長
テレビ離れが、本当に起こっているのかどうかを確認するため。
行政情報をSNSで周知しているので、若者が登録されているのか確認したかった。あと男性、女性の比率。旧伊達町の方にはケーブルテレビについて確認したかった。
全体の問いと旧伊達町の問いという構成にした。
いろんなことを詰めたかったが、テレビとインターネットについて主眼を置いた。

委員
　内容に関してであるが、うちには20歳の息子がいる。
　そもそもテレビを見ません。ドラマを見ないです。
　ドラマを何で見ているかなというのは、質問がずれている。
　スポーツは、小さい画面でなくて、大きい画面で見たいからテレビで見る。
　旅番組は見ない。旅の情報を得たい時はネットで調べるので、テレビは見ない。
　そこは、感覚がずれているとしかいいようがない

室長
　お質しの通りですが、ずれているという事を見据えたことも含めた調査項目となっている。

委員
　そもそも、その番組を見ているか、見ていないかを聞いていた方が、よろしかったのではないでしょうか?若者は、特に何でテレビを見ないかというと、「テレビ見るの、かったるいから」なんですね。自分の欲しい情報だけを切り取ってみたいのです。
　テレビみたいに、漫然とだらだら流されている情報を、待っていられない。
　そもそも設問自体がどうなのかと思った。
　せっかく、アンケート取るなら、結局、新成人だけでなく、子育てサークルなんかやっているので、代表の方に聞くとか、もう少し幅を広げるとよかった。

室長
　ありがとうございます。
　若者に対してアンケート取られた方がいいという事で、まず、成人者交流会があるという事で実施しました。
　アンケートについては、ご意見として伺いましたので、ありがとうございました。

会長
　成人式に集まったところでのアンケートで、新成人の意識を取ったアンケートだということ。

委員
　質問ではないが、伊達の若者の傾向が出たと思う。
　伊達市では、65歳以上の老人の占める割合36%。
　ジェネレーションのギャップがある。こっちもよくて、こっちにもよいというやり方

は難しいけれど考えなければならない。

会長
　課題の二つ目は伊達市のケーブルテレビの事業について
　3つの項目がある。まず、最初は、老朽化した放送設備の更新、放送エリアの拡大について
室長
　合併時の申し合わせ事項としては、全市展開の検討。伊達市のケーブル機器等は 20 年以上経過している。
　前回の議事録を含めて、忌憚のない意見を頂きたいと思います。

会長
　1回目、2回目の議事録を送ってありますので、ご覧頂きたい。
　3つの方針である「ア」、「イ」、「ウ」の「ウ」の方向でということでありました。
　煮詰まっていなかったので皆様から、ハード面ですかね、お話し伺ってまいりたい。
　各委員の方から、ご意見頂きたいと思います。

委員
　梁川町在住。ケーブルテレビの恩恵がない。伊達地区にはケーブルテレビがある。
　伊達地区以外の在住の方で、拡大する要望があるのかどうか、私は聞いたことがない。
　伊達の方の考え方と、伊達地区以外の方の考えがあってもいい。
　あと、施設の老朽化において、どうするか?
　当然、お金がかかる。今、先程、別な視聴方法があると見せて頂いた。
　伊達市の財政で、どこまでできるのかが重要。できないなら、できないとはっきり言ってもらってからでないと、現実的な議論ではないと思う。

委員
　今、お金の議論をしないと、本当は進まないと思う。
　自分は、だてテレビの恩恵受けている。しかし、私は、だてテレビを見ていない。
　一所懸命努力されているのは分かっているが見ていない。
　孫がいるので、認定こども園のお遊戯会など、年2回見ている。
　これは、私個人の意見であるが、根本の自主放送番組は見ないと思う。
　自分を一般化するわけではない。老朽化した設備の更新、やれるなら、やってもらうに越したことはない。ただ心苦しい。自分が見ないのに、機械、直して欲しいというのは、心苦しい。
　市全体のエリア拡大。自分の家にパラボラ建てている人が、入るかというと入らない

のが現実ではないか。インフラみたいなもの広げていくときに、市の人口の動静、今後10年、20年は考えないといけない。東地区では、ここ、3〜4年で空き家がある。作ってみたけど、2〜3年で空き家になって利用する人がいない。

多チャンネルについては、WOWOWとかスポーツとかは、昔は専門的に見られてよかったけど、今は動画配信で、今は、見たい番組をすぐに選んで、すぐに見られる。

いいところだけ、ごっそり見られて、飽きたら、次の場面にとんでみたいな、という時代になってきている。昔みたいに、「8時だョ!全員集合」を、1週間待って見る。

お茶の間に、家族そろって一家団欒で見るというのは、ほとんどないのじゃないか。

極論すれば、だてテレビが、そんな風に変わっていくのであればあり。

そのためには、ただでは、すまない。私は、だてテレビになぜ入ったのかは、ただだから入ったということ。財政はよくわからないが、伊達市での自前の財源は1/4いかないのでしょう。自主財源で1/5くらいなのでしょう

部長

伊達市の予算規模はおよそ300億円。税収は、50数億円です。約1/6くらい。

国で地方財政の調整をしているので、地方交付税を市で頂いている。
それが90億円くらい。

委員

あと、借金もありますよね。借金は、借金で繰り越し、繰り越しで増えているのではないか。そういう状況をお知らせしないと、ケーブルテレビだけでなくて、伊達市の他の事業も関係している。自前でやっているのは、東京都と政令指定都市ぐらい。他の年は、地方交付税交付金でやっている。お金の問題も話さないと進めない。伊達町の住民として、お願いしますといいたいが、言える状況じゃない。

会長

いろいろとご意見いただきました。次の委員どうぞ。

委員

市全体に放送エリアを広げてほしいというニーズがあるのかどうか。ないのであれば、この話しは終わりになりますので、続けるだけということを考える。

経済合理性だけを考えると、この金額を提示されれば、やっぱり考えざるを得ない。

また、市全体に広げないとしても、老朽化の問題がある。また、時代が変わって、情報の取り方が変わっている、状況を考えると、ケーブルで配信するのは、これは取りやめたほうがよい。新しい配信方式で配信する方向で考えるのがベターかなと思います。

多チャンネル有料番組については、民間に任せる。終了という事でいいと思います。

会長
　次の委員、お願いします。

委員
　梁川町在住。ケーブルテレビは、関わっていない。
　妻が旧伊達町で、ケーブルテレビは何回か見たことがあって、伊達市の情報が入っていいなと思いました。
　あと、皆さんの話しを聞いて、財源の話しが大前提かと思いました。
　かなりの財源が必要だとしたら、私は、やらない方がいいのじゃないかと思います。
　放送自体は、インターネット、YouTube でいい。
　先程、伊達町の方が、ケーブルテレビを家族で見ていない、というのは、これからもし、インターネットに移行したとして、見る方がいるのかというのが、私としては気になる。その放送する番組をどうするか、インターネットとなると日本全国、世界中の人が見ますので、どういう番組を作っていくのか?
　自主放送番組も作り直していく必要がある。有料番組は、これから有料サービスに入る方はいないと思う。聖光学院で映像作成するクラブがあり、伊達市でも映像関係につきたいという若者が増えてくるので、そういうことも考えていったらいいと思う。

会長
　次の委員、お願いします。

委員
　１番は、財政負担をいかに少なくするか、２番目は、利便性をいかに高めるか。
　基本的には、今ケーブルテレビを利用している方と新しく使用しようとしている方。
　これを二元的に別々のものとして考えるべきじゃないかと思う。
　私としては、ケーブルテレビは、存続していただきたい。
　機器が壊れるまで、続けていただきたい。
　ケーブルテレビを利用する者として、どう利便性を確保するという事ですけれども、簡単に言うと、だてテレビ、見ないのですよね。私もはっきり言って見ません。
　この前かけたら、梁川の昔話しをやっていた。なかなかいい番組だと思った。
　私の発想で笑われるかもですが、d ボタンとか押すとね、だてテレビの中の映像記録、メニューが出てくる。そこにボタンをあわせると、箱崎の獅子踊りがでてくるとか。
　そういう風にすると、見たい番組をみるのも、見やすいのじゃないかなぁ。
　だてテレビ本局でとった番組を分野ごとでもいいし、いろいろ振り分けて市民が見たい時に合わせて見られるといい。市域全体に拡大することは、無理だと思うのですよ。

無駄な投資。現在ケーブルテレビを利用している人の利便性を上げる。
新しい機器で、利用する人の利便性も上げる。ある程度検討すれば、どのくらいまで投資するか、できるかというのは分かるはず。あれも、これもというと莫大な金がかかる。新規と既存を分けてやればいい。財政事情もあるけど、そんなところでやってもらいたい。今現在のケーブルテレビをなくすことは、避けて頂きたい。
この前の会議の参加者で、9 割の人がケーブルテレビをつないでいる。
30 名くらいいましたけど、そんな風にやっていくしかないのかと思う。

会長
次の委員、よろしくお願いします。1～3 まとめてお話し頂いて結構です。

委員
まず、機器の更新する必要はなし。インターネットで配信するので良い。
2 年前のデータより、インターネットの利用率は多くなっていると思う。
こどもがタブレット持っているので、利用率は高くなっている。
困るのは、想像するに高齢世帯。そういう世帯に対しては、例えば市が有料で Wi-Fi を貸し出すとか、これからインターネットを接続したいという人には、補助金出すとか。伊達市に転入する人にとっても助かると思う。
前委員がおっしゃっていたアーカイブは、当然、ネットでは見られるわけで、使い方が分からないというだけで、みんな、だてテレビなくさないでと言っているだけなのですよ。アクセスの仕方が分からないだけなのですよね。
みんな、スマホ持っているのに、そこがわかっていないだけですよ。
先程、モニターを使って行いましたけど、あれ、いちいち HP からと言われましたけど、今、スマホにしゃべれば出てきますから。「伊達市の HP 見たい」、「伊達市の YouTube 見たい」としゃべれば、見せてくれるので、非常に簡単。
慣れでしまえば、絶対楽。お天気もインターネットからだと細かい情報が見られる。
年配の方の固定観念をどういう風に代えていくのが、一番の課題。
学校行事を配信するのは、今後、ますます難しいと思う
息子の大学の卒業式は、限定した人しか見られない。登録しないと配信が見られない。
そういう風にするとできる。それだと、いつでもどこでもできる。
利用者は助かる。多チャンネル有料サービスも必要なし。

会長
私も、一委員として述べさせたいと思います。
まず、最初に若者のテレビ離れの話しがありました。
孫とかに聞くと、テレビはみない。見るとすると倍速で見る。

2時間を1時間で見る。ドラマもある程度わかったら終わり。
若者は、自分の時間を大切にしているのだなと思う。
かなり、高齢者の方々はテレビの恩恵を被った方々、だてテレビができた当時は、町をあげて歓迎した。私は、平成25年度の調査が印象に残っている。
だてテレビの特徴といった、その時のアンケートで、地域の情報というのがあがってきた。運動会、卒業式、入学式、成人式。ライブで放送していた。
今は、ライフで放送しているのは議会中継。ただし、働いている人は見られない。
2番目、いつでも天気情報が見られる。農業の時の天気の情報、各地区の天気の情報。
3番目、やはり、アンテナがないというのが特徴。家にアンテナがない。
4番目は、伊達町以外の各地の情報が見るのがいい。
5番目に、議会中継。あとは、BS、CSが格安で見られる
平成25年は、ピークで下り坂になってきている時期。
放送の形式が変わってきている。インターネットが大きく私たちの生活を大きく変えた。ケーブルテレビから、4Kになってない。送信元は、4K対応していない。
最近は、各家庭でパラボラアンテナあげている人が多い。
じいちゃん、ばぁちゃんに4k高画質を見せたいというのもある。
だてテレビに依存しては、4Kの恩恵が受けられない。
放送機器の老朽化で、一回、事故が起こると全世帯が地上波見られない。
そこも認識しないといけない。
ケーブルテレビをなくすという事ではなくて、番組制作の配信をどうするかというのを議論していった方がいい。平成25年度は、有料チャンネルは、多チャンネルで色々見られた。ある時、別の家庭で見ているアニマックスと自分の家で見ているアニマックスの画質に違いがあった。ケーブルテレビのものが、高画質ではない。
私は、放送番組審議会、運営審議会もやっていましたが、有料チャンネルから足を引かせて頂いた。社会の状況が変わってきている。10年先も考えないといけない。
市が示している、「ア」、「イ」、「ウ」の、「ウ」の方針でいきたい。あくまでも個人的な考え方ですが。他にご意見ありますか

委員
私も、BSアンテナ自分で上げていて、自分の感覚ですが、自主放送としては期待していない。共同アンテナのイメージ。管理しなくていいなと思っている。
今まで設置したケーブルを捨てるのはちっと、もったいない。
それで、老朽化したのはどの部分か、放送設備なのか?ケーブル線自体があやういのか、どうなのでしょうか

室長

放送設備の開局が平成 11 年。今は令和 4 年で、23 年経過。
伝送路は、耐用年数は 10 年以上経過。ループをしていて皆様の家に行っている。
どこかで断線してもループしていますが、いつ放送事故がおきてもおかしくない耐用年数。

会長
前の審議会でも、同様の議論があった。結論に 2 年間かかった。
伊達市全体でアンケートやった結果。
119 キロの伝送路、更新するために 4 億 4 千万円かかるとしてアンケートした
全市域に伝送路をという人は、32％いた。インターネットの自主放送で、14％。
伝送路更新しないというのが、42％あった。
その時期でも更新しない方がいいという意見という結論は出ていた。
前回は、既存の状態で使えるだけ使いましょうと。そして、市はインターネットで利用できるか検討するとの事でした。
しかし、その後インターネットを市で利用するにも費用がかかるし、さらにはインターネットに加入するにも費用がかかる。
インターネット加入するための費用を負担させてもいいのかという意見もあったが、今まで無料でやってきたので、そうはならなかった。慎重に検討すべきだという事になった。
私としては、伝送路というのは、いつおかしくなっても不思議ではないという事を念頭に置いて、議論すべきだと思った。
委員が先程言った、機器がダメになったら終わりでいいんじゃないかという意見がありましたが、その時期がまもなくきている。危機意識をもって議論した方がいい。
ケーブルテレビがいつ壊れるか分からないので、まずは、そうなって困らないように、各家庭にアンテナを設置するという風にもって言った方がいいのかなと思います。

委員
ケーブルテレビの施設等は、2 回地震があっても、テレビが見られなくなった事がなかったので強いと思ったが、施設等は、壊れなかったのか?

室長
大丈夫でした。

部長
現状では、雷の方が、問題である。

委員
　私の地域でも、2～3 日見られない事があったが、修繕費は結構かかりましたか。

室長
　雷で落ちた場合、影響を受けたエリアによって、金額が変わります。
　ケーブルの伝送路も末端のエリアだけであれば、最小になります。
　それが、エリアが広範囲だと、かなりかかります。

委員
　壊れたとして、そこで放送が終わりではなくて、一回直してから、またどうしましょうか?ということでしょうか

室長
　放送法の許可をもらっている。放送のエリアで、全体の何パーセントのエリアで見られないとなると、復旧しなければならない。
　老朽化の対応をしていかないとダメな時期であります。

委員
　落雷で急にお金がかかった場合は、誰が負担するのですか?

室長
　自然災害なので、市が負担して直します
委員
　仮になったとして、若者は誰も全く困らないと思う。
　どんな放送も、インターネットで全部見られるし、また、時間遅れてでも見られる。
　1 週間以内なら、無料で全部見られるわけで、おそらく放送事故って大変だけど、今困るのは一定の方々。そこに、いくらお金かかるのか。それにかかる経費はいくらか?
　自主放送番組では、いくらかかっているのか?それら全部を流そうとするから、お金がかかるわけで。
　それを考えて、古い装置をギリギリまで使うのが妥当なのかどうか、費用の面から考えてですね。一刻も早く辞めて、別なところに別な方法で、情報を発信する方法にもっていった方が、非常に妥当なのではないかと私は思います。

委員
　3 年前の時も、早急に対応しないと放送事故起こしてしまうと、お話しを伺った。特定の人だけが放送事故を受けるといっても、早急に手を打つべきでしょうということに

なった。
　議論していて、早くしなければいけないことがある。
　早くしないと、誰が責任取るのですかと。審議会は関係ないと思うのですけれど。

委員
　参考になるかどうかですけど。町内会は聖光学院の南側にある。
　聖光学院の校庭、そこに 50 戸の団地がある。そこは、地下の集中アンテナになっている。ただ、年数がたって今から 8 年前。配線塔が老朽化して、どうすればいいか。
　見積りを取ったら、あの当時で 300 万円。1 戸当たり 6 万円。
　個人的な受信装置をつけて、自分で責任を負う人。
　塔のアンテナ利用する人。だてテレビの線を利用する人。
　そして、独自に自分で線を引く人。パラボラあげる人。
　ついこの間、集中アンテナ、無料ではない。月に 1,800 円かかる。
　団地を作った会社が何年か前に倒産。そして、電気代払っていなかった。
　50 件回って、お金をとった。会社で集める人がいない。元オーナーが私財を投じて払っていた。しかし、去年の 8 月、そのオーナーが亡くなった。東北電力としても、電気代を請求する相手がいなくなった。それで、町内会に請求が来た。電気代払えないと、電気止めますよと、電波は配信できませんよと。
　しかし、何とか解決したんですけれども、今年の 3 月に共同アンテナをやめると。
　そして、みなさん同意した。
　大きな版が、だてテレビ。ケーブルテレビに頼った人が、次の機器に変わると。
　西地区で 2,800 世帯。すると、2 億 8 千万円かかる。
　市がケーブルテレビやめますと、宣言してもらって、別のものにしますよと。
　例えば、補助でも 1/3 でも出してもらって。そうしたら、あとくされないと思います。
　私は、そういう発想になります。

部長
　色々意見ありがとうございました。最初の目的があって、準備が 5 年あって、平成 5 年頃から、伊達町をなんとか盛り上げていこうというのがあって、振興していくためには何が必要かと検討した結果、ケーブルテレビを使って身近な人の映像を見る。
　建物も一緒で、図書館と保健センターとケーブルテレビを一緒に整備をすることでフルーツバスケット構想というのがあって、進めたところです。
　成果はあったと思います。当初ケーブルテレビの加入は、80%の加入で現在は 60%。
　お金の話しをすると、9,000 万円、1 億円ちょっとあって、ただ有料放送の収入で 1 千万円程度あって、交付税 2 千万円あって、手出しで 5 千万円ぐらいかかっているという状況です。今聞いて、まとめると、3 年前はここまできていなかったのかなと。

当時は、有料も地上波もインターネットも何もかも、全てを一つケーブルでしたらいいという答申とした。

それで、福島で民間でやっているNCVという会社でやっていて、あれは完全に民間。

そこで、サービスを受ける度合いで、5,000円、10,000円。

ケーブルはもったいないということで、室長にNCVにひきとってもらえますかと話しをした。瀬上まで線が来ているが、線の耐用年数が20年というところもあり、どうなるかというところですが、市としては、機器の老朽化が最初なので、市としては、普通にテレビは見られますよという状態にしたい。

こんにちはだてについては、委員さんから、率直に見てないよという意見がありました。それも自分たちの努力が足りないし、世の中がそうなっている。

今は、こんにちはだては役所の制作になっている。

ただ、さっき見たYouTubeは、役所の人間も作っていますが、「だてな宣伝部長」とか「フォト部」とか、市民が入ってもらって作っています。

あと、聖光学院の話しもありましたが、市の「フォト部」に入っていますので、「こんにちはだて」をなくすのではなくて、経験、ノウハウを継続していきたいと考えている。それで、先程、アンテナに切り替えるのは補助という話しがあったのですが、市の方で全て費用も、市でもって切り替えて、集合の維持経費については、難しいので、一回切り替える費用は市でもって、テレビで見ているのは、インターネットの状況は今の状況と変わらないので、切り替えることができると思う。

ネットがないお宅については、方法はいくつかあるのかなと思う。

そういうのもここでお話し頂ければなと思います。

世の中が変わったのだなと思います。

こども達がタブレット持っていて、ネット環境がないお宅は、年に何千円だったか、簡易なWi-Fi貸し出して、そういうのも市で用意して使ってもらっているので。

あとは、大人の方がどう見るかで、みんなスマホ持っているのでね。

市でもスマホ教室始めたのですね。すぐいっぱいになって。

持っている機能をどう使うかで、どう転換できるかということで。

まとまったものを進めるにあたって、大きな事なので、色々な方に説明できればと思います。本当に、みなさんご意見頂いて、あと、会長にまとめていただいて進められればと思います

会長

3つの宿題。更新については、伝送路機器の問題、多額のお金がかかるので、いつケーブルの事故があるということが考えると、新たな方策を見出さないといけない。

「ア」、「イ」、「ウ」の3つ示されたんですが、我々としては、「ウ」の方向性という事でどうだろうかというところで、まとめていくという事でよろしいでしょうか

また、色々意見があったという事で、付帯事項として、つけていく。
2つ目の方向性として、前回、山田委員の意見で、ケーブルの目的は何なのかという意見があって、それは、地域情報の発信であって、それから、行政情報の発信ということがある。天気については、今まで見られていた天気の情報も残したらと、どういう情報を残したらいいかを検討しながら進めていく。
3番目の有料チャンネルは、意見がなかった。それで廃止していく方向でよろしいでしょうか。それで、有料チャンネルを楽しみにしている人たちには、要するに、こうすれば、見られるよと。あと、だてテレビより高画質で見られるよと説明頂ければと思います。
あと、インターネットの接続していない家庭では、タブレットを有料で貸し出すとか、高齢の一人暮らし、二人暮らしの方にも説明して、こうすればだてテレビ見られるんだよと、説明ししっかりやっていく。そういった事を踏まえて、答申としていく。
だいたい、3つの方向性が決まった。次回は、答申案の作成で、事務局からお示し頂いて進めていく。本日の議案は終了した。その他ありますか?

委員
伊達市にデジタル変革課がある。これは、庁舎内のデジタル変革なのか?それとも伊達市の行政サービスのデジタル変革なのか?

総務部長
総務部に今年できた課です。DX デジタルトランスフォーメーション
一つは、行政の中の変革。そして、地域の中に対して、伊達市全体を便利にしていくことができないか。目的としては、市役所の部分もあるし、地域をうまく回すためにということもあり、両方ある。

委員
行政サービスをデジタル化して向上を図るというのであれば、そちらの課の方から参加して頂くという事は可能なのでしょうか?非常に流れはいいのではないか

部長
ケーブルテレビをどうするかという事で方向性を決めて、そうはいっても、ケーブルテレビは伸びている状況がある福島では、民間がそうなっている。
ケーブルテレビ、一つで色々とできるため。まず、ケーブルテレビをどうするか?
次、デジタルという事で進めたい。

委員

行政って、次どうするって進めていく。そういうことだから、時間かかる。
もし、ケーブルテレビやめますって方針を出すとすれば、これはいいきっかけになる。
市全体が、IT 化に向けたいいチャンス。少子高齢化だとか過疎化とか言っているので、ちょっとでも売りにして、伊達市にとってはいいチャンス。
ぜひ、一度、デジタル変革課の人に来てもらいたい

部長
では、次回連れてくるという事を約束します。スマホ教室でどう反応があるかとか。

委員
スマホ教室もいいし、だてテレビ見られなくなった、困ったという人が、見られるようになるんですと。そうか、スマホってこんなに便利だとわかってもらえる。
もうすぐ、携帯使えなくなる人も変えようと思う、色々な人の意識が変わる。
伊達市がこれからのデジタルのビジョンをどう考えているか、伺ってみたい。

部長
インターネット環境ありますかと聞いたら、ないというけれど、スマホありますかといったら、スマホを出してくる。そんなのもあるかもしれないですね。
そしたら、「こんにちはだて」は見られるし、「議会中継」見られますよと。
どんな業務しているかというのを示されればと思います。
答申案とデジタル変革課というか方針を示させて頂ければと思います。

会長
お聞きしたかったのは、総合計画の 3 次案。デジタルも入ってきていると思う。
その中で、ケーブルテレビはどのような位置づけになってきているのか。
どのように進めていくのだろうか?　ケーブルテレビの番組をインターネットに乗っけて配信しているのですよというようなことを乗せれば、見る人も増えていくのではないかと思います。総計の位置づけを教えていただければと思います

委員
自主放送番組ですけれども、決して面白くない訳ではないです。
初めのオープニングとか、阿武隈急行、走ってきて良いです。
それをどう見せるかということが大事だと思うのです。
ちょっと考えたのですけど、インターネットじゃなくて、逆に公民館とか、病院とかにおいてもらって、流すというのがいい。流しておいて、ついでに、スマホから見られますよとか説明入れて。そうすると、インターネットはインターネットで、並行で進め

ていけると思います。

会長

今までのケーブルテレビは、こういう形で進化しているのだと後世に伝えられると思います。本日の議事は、終了しました。みなさん方のご協力、本当にありがとうございました。以上で、議長の座は、終了させて頂きたいと思います。

課長

会長、ありがとうございました。長時間の協議ありがとうございました。

皆様から、前向きな意見を頂きまして、事務局としても嬉しく思います。

次回ですが、答申案の提示をしてご意見を伺うという事。

あとは、伊達市のデジタル変革課の話しをする。

3次総計の伊達市のケーブルテレビの位置づけの話しをするということ。

時期と致しましては、10月中辺りに、第4回目という風に考えておりましたので、後日、連絡を差し上げたいと思います。その他はないので、皆様よければ、終了としたいと思います

委員

年、何回、やるのですか

課長

回数は決めているわけではないのですが、今日方向性を決めて頂いたので、答申案を決めていただければ終了となります。

委員

結構、他のもあるので、呼ばれている関係もあるからお聞きしました。

委員

次回の日程の候補はありますか。わかれば、休暇も取れる。

3週間以上だと可能ですが、2週間だと予定が入る。

会長

24日の週は、いろいろと入っていて、厳しいので、11月で。

課長

なるべく早く日程だけでも、この辺でどうでしょうかとお伺いします。

電話で確認させて頂きます。それでは、閉会のあいさつを副会長、お願いします。

副会長

それでは、第３回伊達市ケーブルテレビ運営審議会を閉じます。

ありがとうございました。